

# 里だより

No.390

令和6年7月1日

一発行一

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



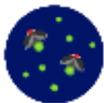
つくしんピック



アイスクリーム会



生活介護班5班☆外出



決算報告(計算書類)……………8



行事予定・  
ありがとうございました・  
編集後記……………7

サービス向上委員会より・  
行事報告……………5

職員より・調理場より……………4

主任より……………3

サビ管より……………2

施設長より……………1

(ページ)

七月号もくじ



## 施設長より

### 災害と防災



九州北部の梅雨入りが、平年より十三日遅く発表されました。梅雨といえば、シトシトジメジメといったイメージでしたが、最近では、急激に多量の降雨が続く線状降水帯という言葉も聞き慣れた感じがします。メカニズムも解明されているため、あと数年もすると高い精度で警戒すべき地域を特定できるようになるともいわれています。その分、災害への警戒も高められ、防災訓練や事業継続計画の必要性を認識しなければなりません。災害が頻発するのが地球温暖化による環境の変化に起因することであれば、そこを根本的に治療する必要があると思いますが、世界規模での取り組みとなります。

災害の際によく聞く言葉に「自分の身は自分で守りましょう」とあります。自分の身は自分で守れない災害弱者と呼ばれる人はどうするのでしょうか。特に、その方々が集まっている病院や施設・学校などは相応の労力を要します。当施設でも防災訓練を月一回のペースで行います。年二回は総合訓練として、消防署への連絡、避難、消火訓練をします。地震・土砂災害・夜間想定や防災機器の取り扱い、備蓄品の確認も年間計画に盛り込んでいますが、想定範囲内に過ぎません。職員が想定している訓練ですが、利用者さんにその想定をご理解いただくのは困難なところも多いと思います。職員個々においても想定規模が違ってもいいかもしれません。体験しなければ難しいことですが、想像を膨らませ、どこにリスクがあるのか気づく力も大切です。

避難訓練では、このようなことが起こります。非常ベルのけたたましい音が館内に響き渡りますが、耳が不自由な方にはジェスチャーなどでお伝えしなければなりません。ご自分で移動が困難な方は、限られた職員数で何度も避難場所まで往復する必要があります。訓練の意味が分からず、パニックになり、移動を拒否されたり、避難場所では、人員確認をしますが、特定の場所に執着される方は、戻ろうとされることもあります。以前、利用を始めの間もない利用者さんが非常ベルの音を怖がり職員にしがみつき、初動が取れないということもありました。他にも、こまごましたリスクは散らばっている現状です。実際の災害の場合は、組織的な指揮命令も必要ですが、初動は現場の判断になりますので、有意義な訓練を積み重ねていきたいと思っています。

つくしの里は高台のため洪水の危険性は低いですが、一五〇mほど南の河川沿いは、洪水浸水想定区域となっています。もしもの際は、学習訓練棟を避難所として開放するようにもしていますので、対応できるようにしたいと思います。

今年、梅雨明け後、猛暑の夏となるようです。災害レベルの暑さになりませんように…。



施設長 松永 一博

## サビ管より

### 作文コンクール



つくしの里では、自己研鑽の一つとして、希望者は日本知的障害者福祉協会が発行している広報誌『さぼーと』を毎月定期購読しています。先月の里だよりの「主任より」でも『さぼーと』について寄稿されました。福祉の動き、障害特性、職員のスキルアップのための内容等、様々な特集が組まれており、新しい発見や気づきを与えてくれます。

様々な特集の中で毎回心を打たれるのが、「全国小・中学生障がい福祉ふれあい作文コンクール」です。作文の内容を少し紹介します。

○障がいがある人を今までなんとなく避けていた小学生が、総合学習で事業所の利用者さんと交流していくうちに気持ちが変わり、障がい福祉に興味を持ち始め、将来は障がい福祉に携わりたいという内容。

○母親が右手全指欠損症という障がいだけれど大好きなお母さんの右手。握ると温かくて元気が出る右手。だけど一度だけ「学校に来るときは、右手は見えないように隠してね」と言っていて、後悔の念をつづった小学生の作文。

豊かな感受性と子供ながらに抱く葛藤。赤裸々な思いが綴られています。

まだまだ障がいがある方が住みよい社会とは言えないかもしれませんが、障がいに対する壁がある人もいます。ただ、この作文のように障がいもその人の個性と捉えてくれる小中学

生がいることも事実です。障がいを理解してくれる人、障がいを個性と捉えてくれる人が近くにいたことがどれだけ心強いのか。この作文コンクールに勇気と安心感をもらいます。そして、人としてあるべき姿を再確認させられます。「障がいって何？」と質問されたときに「その人の個性だよ」と言葉が飛び交う小中学生が少しでも増えていくことを期待します。そのために私たちができることとして、地域との交流、小学校との交流を今後も重ね、施設としての機能を地域に還元しながら、障がいのある人が住みよい地域社会となるような取り組みを推進していきたいと思っています。

今年も秋まつりを予定しています。ここ数年、コロナ禍により規模を縮小していましたが、今回はコロナ禍前の規模に戻す予定です。コロナ禍前の来場者数を想定し、現在、秋まつり担当でコンセプトを決め、出し物ボランティアやバザー等を検討している最中です。秋まつりを通して、施設としての役割を果たせるように準備をしていきますので、つくしの里の秋まつりを楽しみにお待ちしております。

支援係長 竹下 幸樹

### 施設PR委員会 今月の1枚!



アイスクリーム会では、  
スモルトリプルを注文!  
冷たくて美味しかった(∇)★

## 主任より

### 第三者評価



三月の情報交換会でお伝えしましたが、令和六年度は第三者評価を受審します。前回は令和元年度に受審しており、五年ぶり四回目となります。

そもそも第三者評価とは、社会福祉法人等の事業者の提供するサービスの質を当事者以外の公正・中立な第三者機関が専門的かつ客観的な立場から評価する事業をいいます。前回依頼した「あすなる福祉サービス評価機構」に今年度も評価を依頼し、九月の受審に向け準備を進めています。それまでの期間にも担当者の方につくしの里まで足を運んでいただき、活動や行事、ケース会議等の場面を見ていただく予定です。六月はケース会議と入浴の様子を見ていただきました。お風呂場を見て「私も入ってみたいです」と言われたのが印象的でした。

昨年度は実際の評価項目に従い、職員に自己評価を行ってもらい、集計をしました。どうしてその評価を付けたのか理由も記載し、一つ一つの項目に目を向け取り組んでもらいました。一冊一五七ページに及ぶ内容ですので、それなりに時間を要したと思いますが、普段行っている支援や慣れている環境等を客観的に考える良い機会になったのではないかと思います。今年度の受審においても、職員アンケートや評価調査表の記載があります。今、職員各々で取り組んでもらっている途中です。

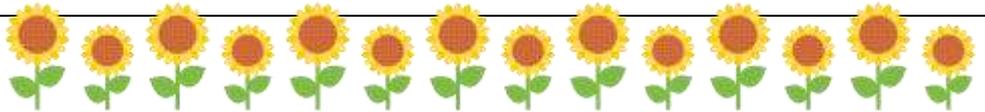
また、前回の評価結果の振り返りも行っています。改善が必要な点については、対応されているのかどうか。されていない場合はどのようにしていくのか担当間で確認し、前回の受審が無駄にならないようにしたいと考えています。例えば食事で特定の利用者さんが使用しているエプロンについて、首に負担がかかっている事から検討が必要と評価されました。実際に職員が付けて体験してみる事で改善に繋がっていきます。また、マニュアル整備等の改善が必要な点もありますので、一つ一つの項目に目を通しながら進めていきます。

第三者評価を受審しますが、身構える必要はなく、普段のつくしの里の様子を見ていただければと思います。慣れた環境や業務をしていると、当たり前と感じる事が多くなり、客観的に物事を見る視野が狭くなってくると感じます。現在の状況を見てください、今後の支援や施設運営等に繋がっていきたくと考えています。

ご家族向けのアンケートを五月の面談でお配りしています。また、六月の里だよりに同封させていただいたご家庭もあります。アンケートの投函期限を六月末までと案内させていただきましたが、まだ間に合います。頂いた意見はどれも貴重な意見になります。アンケートの記載や投函されていない方がおられましたら、ご協力の程よろしく願います。

主任支援員 小嶋 健仁

## 職員より



4月に入職11年目を迎え、永年勤続表彰をしていただきました。11年前、6名の職員と入社しました。高校卒・短大卒・大学卒と私達の同期は全員年齢がバラバラでした。現在は2名になりましたが、同じきらめきグループとして切磋琢磨しながら頑張っています。同期と休日が同じ時に、「明日、遊びに行きますか?」「今日、飲みに行きますか?」とお誘いすると「明日は忙しい」「帰って一人で飲みます」と強くお断りされます…(笑)まだまだ諦めずに、誘い続けようと思っています!!!

私事ですが、4月の里だよりで入籍した事をご報告させていただきましたが、現在妊娠中で、職員やご家族の方にも温かいお言葉を頂き感謝でいっぱいです。利用者Nさんにも伝えて、「いつ生まれる?」「洋服ば買うてやるね」と、とても楽しみにしてくださっています。いつも元気なNさんに負けないように、私も元気に3班の利用者さんと活動に励みたいと思います。  
(支援員 上田な)

4月からいきいきグループに配属され3か月目に入りました。以前勤務していた15年前に比べて利用者の方々の足腰や心身の状態に変化がある様に、私自身も体型が変わってしまいました。日々、利用者の方々と体力づくりをしている所ですが、変化がない為、運動不足解消と健康の為に子どもと一緒にサイクリングや散歩を始めました。毎日取り組もうとすると勤務の関係上、出来ない事もある為、子どもと学校や部活の事などを話しながら出来る日に行い、今のところ継続しています。

利用者の方々も個別活動で強歩を行っています。口に出さないだけで「今日はやりたくないなあ」と感じている方もいらっしゃるかもしれませんが、一緒に話しながら、いつもと違う景色をみる事で日々の運動が少しでも楽しく感じて頂ければ継続できるのではないかと思います。自分自身として15年前の体重と体形までとはいきませんが、今の体重の-5kgを目指して頑張っていきたいです。  
(支援員 村上た)

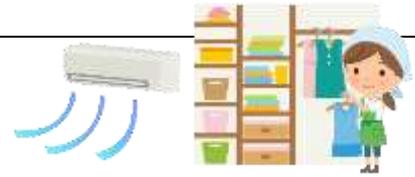
## 調理場より



50歳を過ぎ味覚も年々変化してきました。いつの頃からか果物をよく食べるようになりました。熊本にも新鮮な果物がたくさんあり、今の時期は晩柑、メロン、スイカ、イチジクなどを食べます。6月の給食会議で、食べ物3択クイズ大会をしました。その中で、「世界で一番たくさん作られている果物は①リンゴ②ブドウ③バナナのどれでしょうか?」の問いがありました。答えは②ブドウです。世界中で育てられている果物のうち4割がブドウで、栽培されたブドウのうち約8割はワインの材料として使われているそうです。利用者さんに情報発信しながら、私も勉強させてもらっています。  
(管理栄養士 奈須)



## サービス向上委員会より



### ■ 環境【主任支援員 池田・支援員 北島・木戸】

環境委員会では、利用者さんの居室を整備していきます。快適な睡眠が守られるように、季節に応じた布団の出し入れや寝具のクリーニングを行います。夏を迎えエアコンも、使用頻度が高まっていますが、体感に個人差があり、調整や判断が難しいです。その為、適切な温度を設定し、状況に応じて除湿や加湿の呼びかけをします。また季節の変化に応じ、衣替えを意識して整理整頓を行うなど、利用者さん、職員へ呼びかけを行います。

この他、テレビの映り等を確認して、余暇時間も楽しんでいただけるようにしていきます。

## 行事報告 ※ 5/21 (火) ~6/20 (木) について報告します。

### ★ つくしんピック【5月23日(木) つくしの里】

きらめきグループは午前中、いきいきグループは午後につくしんピックを開催しました。競技内容として、フリスビー投げ・ボーリング・借り物競争を行いました。競技中は「〇〇さん頑張れー」や得点が入ると「やったー」等と応援もすごく盛り上がりました。

競技を終えた後、皆さん口をそろえて「つくしんピック楽しかった」「また、来年も楽しみだな」という感想が聞かれました。

来年は職員も一緒に参加してもっと盛り上がるイベントにしたいと思いました。

(支援員 小城)



### ★ アイスクリーム会【6月13日（木）つくしの里】

阿蘇市にある阿蘇天然アイス工房さんにご協力いただき、キッチンカーでのアイスクリーム販売会を行いました。当日は梅雨入り前でとても日差しが強く、アイスを食べるにはもってこいの天気で、皆さんとても美味しそうに食べられていました。大好評で、売り切れになるアイスもありました。

また、車椅子の利用者の方もキッチンカーまで来られ、メニュー表を見ながら「何を食べようかな～」と楽しそうに選ばれていました。

今回ご協力いただいた阿蘇天然アイス工房さんは、県内外の色々なイベントに出店されています。担当のオススメは、【玄米】がとても美味しかったです。何かのイベントで見かけられた際には、ぜひ立ち寄ってみてください。  
(支援員 井)



### ★ 生活介護⑤班外出【6月18日（火）七城温泉ドーム・菊池市「みずとり」】

今年度1回目の班外出を行いました。つくしの里を出発し、まずは七城温泉ドームに向かいました。前日が大雨だったこともあり、天候が心配されましたが、当日は晴天に恵まれ、雨で水位が増した田んぼに青空が反射し、とても綺麗な景色でした。

七城温泉ドームには、大浴場や露天風呂だけでなく、ぬるま湯やでんき風呂、歩行湯などの个性的なお風呂があり、皆さん様々な種類の温泉を入り比べ、ゆったりとした時間を過ごす事が出来ました。

昼食は、水とり菊池店さんでランチを頂きました。新鮮な刺身の定食や揚げたての天ぷらの定食を頂きました。食事するお店に向かう際に、いつも作業でお世話になっているお菓子の香梅の店舗が見えて「お菓子の香梅菊池店！」という声が聞こえ、皆さんが笑顔になる場面がありました。8月には一泊旅行も控えておりますので、今後も繁忙期を乗り越え、利用者さんと職員一同で頑張っていきたいと思っております。  
(支援員 瀬形)



# 行事予定

# 7月

## ☆ バイキング昼食会 (つくしの里)

期 日：7月4日 (木)

内 容：ビビンバ、チャプチェ、チヂミ、デザートなどの韓国料理バイキングです。  
スタミナ料理で暑い夏を乗り切ります！！



## ☆ スイカ割り (つくしの里)

期 日：7月30日 (火)

内 容：各班に分かれてすいか割りを楽しみたいと思います！



## ありがとうございました

今月の掲載分は、  
令和六年五月二十一日～  
令和六年六月二十日です

### 寄付・寄贈

- ・今坂 桂子 様
- ・岩根 亨 様
- ・内田 節代 様
- ・江頭 多津子 様
- ・清田 すま子 様
- ・坂田 正雄 様
- ・芹川 一幸 様
- ・竹山 眞事 様
- ・田上 恵子 様
- ・中島 茂 様
- ・廣瀬 悦美 様
- ・藤田 孝志 様
- ・光永 順子 様
- ・森永 充 様
- ・渡辺 昭子 様
- ・伊藤 智佳子 様
- ・田口 悠 様



### 【ボランティア】

- ・村里 和洋 様
- ・トキヨロ 様
- ・カモメ 様
- ・木本 ふじ子 様

誠にありがとうございました。

利用者さんの為に使用させて頂きます。

※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して記事の記載、確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら何卒ご容赦していただきますたく存じます。

## 編集後記

七月上旬に、体育実技研修会に新職員を中心に二チーム十四名で参加します。競技はミニバレーです。殆どの職員がミニバレー初心者で、近くの小学校の体育館をお借りして施設長、事務長を筆頭にご指導頂きながら練習を行っているところです。最初はサーブが入らなかつたり、ラリーが繋がらなかつたり、ホームラン級にボールが飛んでいったりと珍プレー連発でしたが、練習を重ねていくうちにプレーに安定感が出て、上達してきました。また、声を出すことでチームが一つになり団結力が強まったと思います。出場するからには優勝を目指して、誰一人怪我をせずに頑張りたいと思います。

令和六年も半年が過ぎ、無事に理事会と評議員会が終わりました。決算報告を掲載しますので、ご確認ください。



法人単位貸借対照表  
第三号第一様式（第二十七条第四項関係）  
令和6年3月31日現在

	債務の部			資産の部			増減
	当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減	
流動負債	310,640,215	293,971,244	16,668,971	流動負債	52,751,314	52,184,329	566,985
現金預金	240,981,909	226,441,733	14,540,176	事業未収金	27,201,797	26,017,318	1,184,479
事業未収金	69,021,978	66,897,261	2,124,717	預貯金	88,285	40,507	47,778
立替金	7,778		7,778	職員預貯金	6,572,232	5,084,504	1,507,728
商品債権	628,550	632,250	-3,700	賞与引当金	18,139,000	20,452,000	-2,313,000
				役員退職慰労引当金	750,000	610,000	140,000
固定負債	879,446,935	864,204,945	15,241,990	固定負債	21,900,760	20,146,790	1,753,970
資本積座	441,048,826	447,154,538	-6,105,712	退職給付引当金	21,900,760	20,146,790	1,753,970
土地	73,133,245	73,133,245	0	負債の部合計	74,652,074	72,331,119	2,320,955
建物	367,915,581	374,021,293	-6,105,712				
その他の固定資産	438,398,109	417,050,407	21,347,702	基本金	212,872,499	212,872,489	0
建物	1,060,682	1,327,099	-266,417	国庫補助金等特別積立金	95,687,591	100,544,952	-4,857,361
構築物	20,098,265	23,078,045	-2,980,780	その他の積立金	380,313,832	357,313,832	23,000,000
機械及び装置	1,791,142	2,234,703	-443,561	移行時特別積立金	35,559,832	73,500,000	0
車両運搬具	2,543,487	4,138,879	-1,597,392	人件費積立金	73,500,000	73,500,000	0
器具及び備品	10,501,976	8,538,598	1,963,378	償還費積立金	68,700,000	68,700,000	0
権利	187,965	279,461	-91,496	備品寄贈入積立金	16,200,000	16,200,000	0
ソフトウエア			0	建設積立金	186,354,000	163,354,000	23,000,000
退職給付引当資産	21,900,760	20,146,790	1,753,970	次期繰越定款積戻金等類 (75当期決算損益等類)	426,561,154	415,113,787	11,447,367
移行時特別積立資産	35,559,832	35,559,832	0		34,447,367	15,995,943	18,491,424
人件費積立資産	73,500,000	73,500,000	0				
償還費積立資産	68,700,000	68,700,000	0				
備品寄贈入積立資産	16,200,000	16,200,000	0				
建設積立資産	186,354,000	163,354,000	23,000,000	資産の部合計	1,115,435,076	1,085,945,070	29,500,006
負債の部合計	1,190,087,150	1,158,176,189	31,910,961	負債及び純資産の部合計	1,190,087,150	1,158,176,189	31,910,961

(単位：円)

法人単位資金収支計算書

（自）令和5年4月1日 （至）令和6年3月31日

（単位：円）

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	障害福祉サービス等事業収入	415,709,000	417,121,634	-1,412,634	
	経常経費補助金収入	1,750,000	1,782,122	-32,122	
	受取利息配当金収入	9,000	9,107	-107	
	その他の収入	2,586,000	2,594,628	-8,628	
	事業活動収入計（1）	420,054,000	421,507,491	-1,453,491	
	支出				
	人件費支出	266,358,000	263,212,618	3,145,382	
	事業費支出	58,581,000	55,301,228	3,279,772	
	事務費支出	51,370,000	49,647,601	1,722,399	
その他の支出	482,000	473,044	8,956		
事業活動支出計（2）	376,791,000	368,634,491	8,156,509		
事業活動資金収支差額（3）=（1）-（2）	43,263,000	52,873,000	-9,610,000		
設備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入		0	0	
	固定資産売却収入		0	0	
	施設整備等収入計（4）	0	0	0	
	支出				
	固定資産取得支出	14,192,000	14,190,044	1,956	
ファイナンス・リース債務の返済支出		0	0		
施設整備等支出計（5）	14,192,000	14,190,044	1,956		
設備等資金収支差額（6）=（4）-（5）	-14,192,000	-14,190,044	-1,956		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	203,000	203,820	-820	
	その他の活動収入計（7）	203,000	203,820	-820	
	支出				
	積立資産支出	24,958,000	24,957,790	210	
その他の活動支出計（8）	24,958,000	24,957,790	210		
その他の活動資金収支差額（9）=（7）-（8）	-24,755,000	-24,753,970	-1,030		
予備費支出（10）	2,592,000		2,592,000		
当期資金収支差額合計（11）=（3）+（6）+（9）-（10）	1,724,000	13,928,986	-12,204,986		
前期未支払資金残高（12）	262,848,915	262,848,915	0		
当期末支払資金残高（11）+（12）	264,572,915	276,777,901	-12,204,986		

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）  
法人単位事業活動計算書

（自）令和5年4月1日 （至）令和6年3月31日

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	取益			
	障害福祉サービス等事業収益	417,121,634	431,048,555	-13,926,921
	経常経費高増金収益	1,782,122	2,403,700	-621,578
	サービス活動収益計（1）	418,903,756	433,452,255	-14,548,499
	費用			
	人件費	262,793,588	299,103,521	-36,309,933
	事業費	55,301,228	53,753,512	1,547,716
	事務費	49,647,601	48,116,385	1,531,216
	減価償却費	23,585,257	23,494,133	91,124
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-4,857,361	-4,997,313	139,952
サービス活動費用計（2）	386,470,313	419,470,238	-32,999,925	
サービス活動増減差額（3）=（1）-（2）	32,433,443	13,982,017	18,451,426	
サービス活動外増減の部	取益			
	受取利息配当金収益	9,107	8,786	321
	その他のサービス活動外収益	2,594,628	2,385,361	209,267
	サービス活動外収益計（4）	2,603,735	2,394,147	209,588
	費用			
その他のサービス活動外費用	473,044	420,219	52,825	
サービス活動外費用計（5）	473,044	420,219	52,825	
サービス活動外増減差額（6）=（4）-（5）	2,130,691	1,973,928	156,763	
経常増減差額（7）=（3）+（6）	34,564,134	15,955,945	18,608,189	
特別増減の部	取益			
	施設整備等補助金収益	0	0	0
	固定資産売却益	0	0	0
	特別収益計（8）	0	0	0
	費用			
	固定資産売却損・処分損	116,767	2	116,765
	国庫補助金等特別積立金取崩額（除却等）	0	0	0
国庫補助金等特別積立金積立額	0	0	0	
特別費用計（9）	116,767	2	116,765	
特別増減差額（10）=（8）-（9）	-116,767	-2	-116,765	
当期活動増減差額（11）=（7）+（10）	34,447,367	15,955,943	18,491,424	
繰越活動増減差額（12）	415,113,787	414,157,844	955,943	
当期末繰越活動増減差額（13）=（11）+（12）	449,561,154	430,113,787	19,447,367	
基本金取崩額（14）	0	0	0	
その他の積立金取崩額（15）	0	0	0	
その他の積立金積立額（16）	23,000,000	15,000,000	8,000,000	
次期繰越活動増減差額（17）=（13）+（14）+（15）-（16）	426,561,154	415,113,787	11,447,367	